



伊豆市

No.40

議会だより

発行:伊豆市議会 <http://www.city.izu.shizuoka.jp> 編集:議会広報委員会
〒410-2413 静岡県伊豆市小立野38-2 TEL 0558-72-9906 2014.5.1発行



こいのぼり(中伊豆小川地区)

こいのぼり(鯉織)は、竜門の滝を鯉だけが登りきり、竜になることができたという中国に古くから伝わる「鯉の滝登り」伝説にちなんで、「我子も健康に育ち、将来は大きく出世して欲しい」との気持ちを込めたものです。また、「わが家に男の子が生まれました。どうぞお守りください。」と天の神様に伝え、守っていただく意味があるとも伝えられています。

目次 CONTENTS

■ 3月定例会の概要	2
■ 委員会審査	4
■ 一般質問	8
■ 第1回臨時会概要	12
■ 会派視察研修報告	13
■ 6月定例会の予定等	14

平成26年度 一般会計・各特別会計予算を審議・可決 一般会計予算は、164億6,000万円になりました

平成26年
第1回定例会

平成26年第1回定例会を、2月25日から3月25日まで29日間の会期で開催しました。平成26年度一般会計予算、各特別・企業会計予算17件、報告4件、平成25年度補正予算4件、条例関係13件、その他6件、人事案件2件が上程され、審議の結果、それぞれ原案のとおり可決・同意しました。

また、議会発議の「伊豆市議会行財政改革特別委員会設置に関する決議」が上程され、審議の結果、原案のとおり可決しました。



▲市長の施政方針

会計名	26年度当初予算	25年度当初予算	比較	
一般会計	164億6,000万円	156億2,300万円	8億3,700万円	
特別会計・企業会計	公共用地取得事業特別会計	147万円	3,685万円	△3,538万円
	国民健康保険特別会計	49億3,150万円	48億6,160万円	6,990万円
	後期高齢者医療特別会計	3億6,160万円	3億6,140万円	20万円
	介護保険特別会計	32億1,780万円	28億9,280万円	3億2,500万円
	簡易水道事業特別会計	3億9,810万円	2億5,680万円	1億4,130万円
	下水道事業特別会計	12億7,140万円	12億8,180万円	△1,040万円
	農業集落排水事業特別会計	1億3,910万円	1億2,780万円	1,130万円
	水道事業会計	6億6,217万5千円	8億4,023万4千円	△1億7,805万9千円
	温泉事業特別会計	5,517万円	6,296万円	△779万円
	財産区特別会計(7財産区)	615万円	705万円	△90万円

平成26年度
予算

◆一般会計予算

合併後10年を経過し、平成27年度からの地方交付税の合併特例措置終了を見据えた中で、今後実施が困難になると思われる事業への取り組みを進めるため、前年度より8億3,700万円増の164億6,000万円となった。

主要事業として、市内全域を光ファイバーサービスエリアとする事業者への補助、また、国・県の第4次被害想定を受け、土肥・八木沢地区への津波避難タワーの整備、26年度に完成予定の新し尿処理施設建設事業、修善寺駅周辺整備事業、消費税の引き上げに伴う低所得者・子育て世帯への臨時給付のための予算等が組まれたもの。

◆介護保険特別会計予算

介護給付費の伸びから前年度より増額の見込みとなったもの。

◆簡易水道事業特別会計

土肥八木沢・小下田地区の安定給水のための事業を中心に、前年度より増額の見込みとなったもの。

人事

◆伊豆市副市長の選任

大石勝彦副市長より退職願が提出されたことによるもので、伊豆市総務部長の鈴木伸二氏を副市長に選任することに同意しました。

任期は、平成26年4月1日から4年間です。

◆伊豆市教育委員会委員の任命

任期満了に伴い、新任の植松真由美氏（月ヶ瀬）を任命することに同意しました。

任期は、平成26年5月12日から4年間です。

平成25年度補正予算

◆一般会計補正予算（第6回）

国の補正予算に係る補助金の追加交付に対する、し尿処理施設建設の業務委託料の増額4億52万8千円など計4億6870万円を追加し、歳入歳出総額をそれぞれ170億5360万円とするもの。

継続費については、修善寺駅周辺整備事業の補正、繰越措置については、し尿処理施設建設事業な

どをお願いするもの。
債務負担行為については、平成26年度運行分のバス路線維持事業補助金などをお願いするもの。

条例

◆消費税及び地方消費税の税率引上げに伴う関係条例の整備に関する条例の制定

平成26年4月1日から消費税及び地方消費税の税率が5%から8%に引き上げられることに伴い、伊豆市教育施設の利用に関する条例ほか18条例に規定する使用料等の改正を行うもの。

◆伊豆市総合計画条例の制定

地方自治法改正により総合計画の基本構想の議決についての条項が廃止されたため、総合計画の策定根拠等を定めるための条例を制定するもの。

◆伊豆市修善寺駅北駐車場条例の制定

修善寺駅周辺整備事業により整備を行った有料駐車スペースの名称を「修善寺駅北駐車場」とし、

駐車場の管理、使用料等に関し必要な事項を定めるもの。



▲修善寺駅北駐車場

その他

◆公の施設の指定管理者の指定（修善寺温泉駐車場）

修善寺温泉駐車場について、一般社団法人伊豆市観光協会を指定管理者として指定するもの。

◆市有財産の処分について

小下田にある旧ふじみ園跡地の売却処分について、地方自治法の規定により議会の議決を求めらるもの。

◆市有財産の譲与について

市が管理している横金の湯の温泉施設を株式会社船原温泉組合に譲与するもの。

3月定例会で設置されました

『伊豆市議会』

行財政改革特別委員会

フロンティア伊豆と創生伊豆の2会派は、更なる伊豆市の行財政改革の取組みを調査し、また支援するため『伊豆市議会议行財政改革特別委員会』の設置を提案し、可決されました。

【目的】

市の行財政について、公共施設の適正管理、自主財源の確保、事務事業の見直し等の重要課題を整理し、その改革及び対策に係る調査研究を行うため。

【委員】

委員長	山田 元康
副委員長	梅原 正次
委員	永岡 康司
	大川 明芳
	小長谷順二
	杉山 誠

議案

チェック

委員会の議案審査で、
次のような質疑がありました

第1委員会

◆一般会計予算

問 修善寺駅周辺整備事業の周辺道路の改修・改良工事の中に、北側の新しい出口の前にある「あゆのさとこども園」の道路両側の桂の木が相当大きく、サツキの植え込みも大きくなっており、子供が木や植込みの陰に隠れてしまい、飛び出し等があった場合には見えないと言っている声があります。そこで、道路の改良には、その辺りの対策が含まれているのか。また、その辺りが検討されているのか。

答 「あゆのさと」側の木については、この予算には計上されていませんが、桂の木がウロになって台風で倒れる心配と、生垣に缶を捨てられ、痛い思いをして拾わなければならぬという地区からの意見もあるので、今後、建設課の補

修工事等で行うようになると思います。

問 市道整備事業の道路ストック点検調査業務委託は、先般、国の方で防災・減災に資する国土強靱化基本法が成立しましたが、これに関係するか。

答 その辺りの把握はしていませんが、県の指導のもとに、トンネルの状況や道路の状況等を調査し、それに基づいて順位付けをします。その上で、補修の概算事業費を算出し、県に要望して補助をいただきたいながら事業を進めていきたいと考えております。

問 内陸フロンティア企業誘致促進農業基盤整備事業は、具体的に、県の推進している内陸フロンティア企業誘致促進事業に出資する予算なのか。それとも、伊豆市が大平地区で何かをしようとする事業なのか。

答 この事業は、平成25年度から県で創出された高速道路や高規格道路のインターチェンジ周辺を活性化するように事業化されたものです。今回、事業対象としているの

は大平インター周辺です。こちらは現在、国土交通省による残土の埋め立て事業をしており、最終的には換地等を行い、利用形態の集約化を図るのが主目的です。本事業では、非農用地の創設が制度的にできますので、今後の土地利用の方針について、地元を交えて調整している段階です。

問 昨年度建設された「土肥こども園」の津波避難タワーの建設費は7500万円程度であったと思いますが、今回は1億4500万円ということで、規模にもよると思いますが大きな違いがあるのか。

答 規模は若干大きくなっています。一番大きな違いは、建設予定地の地盤が軟弱なためボーリング調査をしたところ、40数メートルのところまで支持地盤に当たるため、杭打ち工を地中深くまで行いますので、「土肥こども園」に比べて工事費を増額しています。

問 ホームページの運用のための支援委託料や広告料では、F M I S 関連の予算が組まれています。行政側からの情報発信に

S N S やツイッターなどを活用しているところがあります。特に、災害時などに情報をツイッターで上げてもらい、それをさらに再発信する事例が最近多く見られます。現在、F M I S の番組の中で、フェイスブックを使った情報を流していることは知っていますが、その活用をどのように考えているか教えてください。

答 現実的にS N S を使った取り組みをしている自治体もありますが、人の配置という点で、なかなか難しいものがあります。瞬時に情報を発信するだけではなく、集めた情報を集計し、新たに発信をするには、専属に人を置く必要があります。現在、F M I S で、その代わりに若干いただいています。さらに、災害情報等も、リスナーの方から寄せられたものを市へいただける協定を結んでいますので、当面は現状でいきたいと思っています。

第2委員会

◆一般会計予算

問 コンビニ収納について、新たな税目の利用は予定しているか。また、納付に係る手数料はどの程度か。

答 平成27年度から個人の住民税の普通徴収分、固定資産税、国民健康保険税の3税への利用拡大を予定しています。来年度はその準備になりますので、引き続き軽自動車税のみ、コンビニへの納税が可能ですが、納税の利便性はよいですがコンビニ納税の手数料は、1件約60円程度かかります。口座振替ですと1件10円です。コンビニ納付も現金を持ち歩く必要があるため、今後も口座振替を勧めていきたいです。

問 臨時福祉給付金給付事業の給付金対象者への対応について説明を。

答 対象者は、市町村民税の均等割が課税されていない方です。生活保護制度の被保護者等は対象となりません。また、非課税の方でも課税対象者の扶養親族になって

いる方は除かれます。

給付対象者1人について1万円です。老齢基礎年金、障害基礎年金、遺族基礎年金の受給者と、児童扶養手当法による児童扶養手当の額等の改正の特例に関する法律の中で受給者については、5千円が加算される制度です。

今年の6月以降に住民税額が確定し、手続きを始めますが、申請者を抽出するための税情報について、個人情報保護から通知はできない旨の国の見解があり、今現在、給付金の手続方法については、はっきりしておりません。

問 敬老会事業は、地区開催により減額となりましたが、区長会の資料では対象者1人につき1500円で予算を算出していました。その内訳について説明を。

答 近隣市町では、大体1人1000円の交付金方式で実施されています。今まで伊豆市では、弁当代と記念品の分として1人1000円で計上していましたので、それらの経費を800円、その他諸経費として700円を考慮し、合計の1500円を単価とし

て算出しています。

問 検診事業について、肺がん、胃がんの健診予算額は増えたが、その他の健診予算額は減額されている。市民の健康志向を考慮すると検診需要が減るとは考えにくい。その理由について説明を。

答 平成25年度当初予算は、検診の受診票を一括送付することにより、近隣市町の実施状況から受診見込みを8パーセントから10パーセント増加する計画で予算をたてました。

しかし、本年度、対象となる市民に受診票1年分の一括送付を実施したところ、新規の受診者は増加しましたが、今まで受診してきただ方は、一括送付に慣れていなかったり、検診前の送付がないので検診を忘れてしまったため、受診者数の見込み数ほど増加しませんでした。

平成26年度予算は、実績の受診者数を精査したため、減額となりました。また、胃がん検診の増加については、バリウム検査を実施した方に、新たに血液検査をして胃の健康度を計るABCリスク検査を取り入れるため、増額となつ

ています。

問 健康づくり事業で健康マイレージ事業の取り組みについて説明を。

答 検診カードを一括送付するときに、このマイレージ事業の紹介をします。健康教室等で配る予定です。健康教室や検診、自らの健康づくりで目標を立てて、ポイントを貯め、何ヶ月間か頑張つていただくのですが、具体的なことは、これから検討していく予定です。

問 学校支援員報酬について、増員を予定する理由について説明を。

答 来年度、天城小学校に特別支援学級1クラスを新設し、中伊豆小学校の1年生が、35人の1クラスとなる予定です。それぞれの学校に1人ずつ、計2人を増員させていただきます。

討 論

◆平成26年度一般会計予算

反対討論

●身体障害者福祉会の補助金廃止は、全く弱者を顧みない。当局は、この方たちを支援することが仕事ではないのか。

子どもが飛び出すからと、駅北の桂の木を切ることは、自然破壊・環境破壊の最たるものである。

天城会館指定管理料は、中身がどうなっているのか、使い道がさっぱり分からない。疑惑である。

修善寺駅周辺整備事業をやっても、駅周辺はますます衰退していく。無駄な投資は止めていただきたい。

学校再編事業は、教師を減らす事業である。

F M放送・修善寺駅の観光案内所・インバンドなどアナログな事業が多すぎる。IT機器を駆使して観光情報を発信するまことにしたい。

●身体障害者福祉会への補助金の全額カットは、弱者の切り捨てである。

敬老会事業を地域開催にするとは、責任放棄である。福祉をやるために行政組織はあるのではないのか。

食肉加工センター管理運営事業は、毎年1500万から2000万円の赤字の垂れ流しである。もっと有効的にお金を使うべきである。

天城会館指定管理料は、その支出及び管理や会計処理について、裁判所では非が問われている最中に、何事も無いかのごとく新年度予算に計上することは、非常に疑問である。

●学校再編成の説明会では、当事者である子供たちの意見をなぜ聞かないのか。学校教育にとって最も大切なことは、様々な意見を出し合って、真実・心理を探究することではないのか。このような中で、新中学校をつくることを進めようとするのは、上からの押し付けの何物でもないと思う。

伊豆市の推計人口が2040年には2万1000人になるとい

結果から、どうして学校再編をすれば、人口増や地域活性化が図られるのか。

教育委員会がいう、より良い教育環境の方針には一貫性がない。修善寺中・中伊豆中・天城中も小中一貫教育を新たな選択肢として考えられるが、全く触れていない。

修善寺南小学校の音楽室の暑さ対策の予算がありません。良好な環境への捉え方がこの程度なのか。敬老会事業は、100歳の方の記念品を3万円から2万円に、88歳の方は、3千円を2千円に引き下げたことは問題である。

賛成討論

●地方交付税の合併特例措置の段階的な終了を控え、今やらなければ困難と思われる事業を盛り込んだ伊豆市の将来を見据えた予算編成を確認することができた。主な事業として、光ファイバー網整備事業、八木沢地区の津波避難タワー整備、公共交通の路線バス確保による高校生を対象とした通学費補助の開始、入院中の食料料を追加した子ども医療費助成事業、敬老会の地区単位への切替えなど、

山積する諸問題に対し、大きく前進できる予算編成として高く評価できるものである。

●平成27年度からの地方交付税の合併特例措置終了を見据え、今やらなければ今後実施が困難になると思われる事業を見極め、選択を行い、将来を見据えた積極的かつ堅実な予算編成となっている。

主な事業として、新規事業では、光ファイバー網整備補助事業、恋人岬ボードウォーク改修事業、修善寺グラウンド大規模改修事業、継続事業では、新し尿処理施設建設事業、修善寺駅周辺整備事業、土肥地区津波避難塔建設事業と、伊豆市の発展・繁栄・安全安心のための事業であり、また、経常的経費・投資的経費ともに指針である第1次総合計画後期基本計画のまちづくりの6つの基本方針を忠実に実行するために、一つひとつ積み上げ編成された将来を見越した健全予算であり、今後の伊豆市の振興・発展にとって必要不可欠であると評価判断しました。

平成 26 年第 1 回 (3 月) 定例会で審議した議案

■賛否が分かれた議案

件名	議決結果	永岡康司	三田忠男	小長谷朗夫	山下尚之	山田元康	青木靖	大川明芳	梅原正次	小長谷順二	西島信也	森島吉文	杉山誠	室野英子	森良雄	木村建一
----	------	------	------	-------	------	------	-----	------	------	-------	------	------	-----	------	-----	------

人事案件

伊豆市教育委員会委員の任命について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
-------------------	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

予算関係

平成25年度伊豆市一般会計補正予算(第6回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
平成 26 年度伊豆市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×
平成26年度伊豆市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成26年度伊豆市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成 26 年度伊豆市水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成 26 年度伊豆市温泉事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
平成26年度伊豆市財産区特別会計予算(7財産区を一括採決)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

条例

消費税及び地方消費税の税率引上げに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
伊豆市農村環境改善センター条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
伊豆市天城ふるさと広場条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
伊豆市天城会館条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
伊豆市湯の国会館条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
伊豆市道路占用料等徴収条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
伊豆市中伊豆交流センター条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
伊豆市公民館条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
伊豆市総合計画条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
伊豆市修善寺駅北駐車場条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

その他

公の施設の指定管理者の指定について(修善寺温泉駐車場)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○
市有財産の処分について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×
市有財産の譲与について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○

人事案件

伊豆市議会行財政改革特別委員会設置に関する決議について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
-----------------------------	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

※1 ○賛成 ×反対

※2 議長(飯田正志)は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません。

■全会一致で可決した議案等

専決処分の報告について(施設管理事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定)	伊豆市教育施設の利用に関する条例の一部改正について
専決処分の報告について(施設管理事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定)	平成 26 年度伊豆市下水道事業特別会計予算
専決処分の報告について(施設管理事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定)	平成 26 年度伊豆市農業集落排水事業特別会計予算
専決処分の報告について(訴えの提起について)	伊豆市営施設運営委員会条例の一部改正について
平成 25 年度伊豆市国民健康保険特別会計補正予算(第4回)	伊豆市がらばる企業を応援する条例の一部改正について
平成 25 年度伊豆市介護保険特別会計補正予算(第3回)	伊豆市営住宅条例の一部改正について
平成 25 年度伊豆市下水道事業会計補正予算(第3回)	伊豆市の特定の事務を取り扱わせる郵便局の指定について
平成 26 年度伊豆市公共用地取得事業特別会計予算	市道路線の廃止について
平成 26 年度伊豆市後期高齢者医療特別会計予算	市道路線の認定について
平成 26 年度伊豆市簡易水道事業特別会計予算	伊豆市副市長の選任について

市政を問う

～一般質問～

11人の議員により33件の質問がありました。そのうち、それぞれ1件についてお知らせします。(要約・質問順)

質問

インバウンド

(森 良雄議員)

市長の海外旅行は恒例となりました。今年は何時、何処へどんな陣容で行きましたか。総勢、何人ですか。目的はなんですか。飯田正志議長も連れて行きましたか。成果はいかがですか。市長の成果報告を広報せずに載せてください。市民交流団も台湾へ行きませんか。

市長 市答

3つの目的の下、台湾へ9名で行きました

これまでの成果を踏まえ、今回2月中旬に3日間台湾へ議長、事務局職員2名を含めた9名で、伊豆市インバウンド推進プロジェクトチームの要請を受け参加しました。

目的は3つ。旅行会社へのプロモーション、文化交流の検討、東駿河湾環状道路開通後の首都圏近接性のPRです。

成果は観光客誘致数の増加で前年比36%増です。

広報いずへの掲載は現在考えていません。同行した市民グループはありません。

質問

青少年のインターネット依存対策を

(杉山 誠議員)

厚生労働省の調査結果では、中高生全体の8%、全国で約52万人がインターネット依存の疑いが強いと推計されています。

ネット依存の問題点は、欠席、成績低下、不登校や引きこもり、睡眠障害やうつ症状、視力や筋力の低下などの他、犯罪に巻き込まれる場合もあります。早期の対策が必要だが、当市の取り組みはいかがでしょうか。

市長 教育 教答

学校・家庭・地域の連携が必要

小中学生の時期に、指導や対策が必要という認識は持っています。

「小中学校携帯講座」の利用や、親子で話し合いをするように、各学校で、家庭や子どもへの指導をしています。

保健の授業や情報教育でも指導中です。

ネット依存は、学校だけの問題ではなく、社会の問題として学校・家庭・地域が連携して、それぞれの立場でより効果的で具体的な指導をさらに対策をすすめていきます。

質問

地域医療体制の整備

(小長谷 順二議員)

地域医療の現状は大変厳しい状況が続いており、今後さらに悪化することが懸念されます。事実、土肥地区で長年地域医療に貢献していただいた『世良田医院』が三月で閉院となります。地域医療整備として西伊豆町との医療広域連携で西伊豆病院付属土肥クリニックへの救急医療を含めたさらなる医師の確保について伺います。

市長 西海岸の広域連携で
市答 医療機関確保に努力

土肥地区、西伊豆町、松崎町との広域連携が大切で協議を重ね医師確保に向けて努力し動いてはいますが、大変難しい状況にあります。

また、現時点では公設民営で診療所を開設し、医師を誘致するところまでは考えていません。



質問

中学校の再編

(西島 信也議員)

教育委員会は、修善寺地区小学校の再編に先行して、土肥地区小中一貫校への再編と、修善寺地区内へ新たな校地を求め、修善寺中・天城中・中伊豆中の3校を1校に統合する計画を示しましたが、次の点をお尋ねします。
①どのような点をお尋ねします。
②新たな学校用地は、どのように確保するのか。

市長 建設基本構想を策定し、
市答 関係者のご理解を

学校用地、規模等については、新中学校の建設基本構想を策定し、各地区の地域住民や保護者の方、学校関係者による準備委員会を開催し、協議を重ねご理解、ご協力をいただけるよう誠心誠意取り組んでいきます。



質問

伊豆市消防団の諸待遇
と今後の対策

(山田 元康議員)

現在消防団員は概ね35歳で退団していると思いますが、一度退団した後、本部役員として再入団される訳ですが、働き盛りの年齢で伊豆市内で仕事をしている人ばかりでは無いと思います。本部役員が退団の時、本人だけでなく、家族にも感謝状とか記念品を又消防団員を雇用されている理解ある企業も同様にされたらいかがでしょうか。



▲消防団入退団式

市長 感謝状は消防団で、雇用
市答 協力事業所は、今後検討

家族などの皆様への感謝状については、消防団で検討していただくよう消防団長と協議します。

なお、団員雇用企業に対しては、平成24年度から、伊豆市消防団協力事業所表示制度を実施し、市内5事業所が認定を受け、看板を設置し、県のホームページに掲載され、県税の一部免除がなされています。感謝状については、今後検討します。

質問

給食センター等における食の安全対策を問う

(小長谷 朗夫議員)

ノロウイルスによる集団食中毒や集団感染が後を絶たない学校給食について、①搬入される食材の安全管理②調理員の保菌検査の現状③給食運搬に従事している方及び給食を受け取る学校・園の職員の予防対策④教室での子供たちの指導について、予防に重点をおいた伊豆市の取り組みを伺います。

長弁
教育
教答

学校給食衛生管理基準に基づき行っています

学校給食の衛生管理全般については、文部科学省の定めがあり、これに基づいて衛生管理を行っております。

食材の安全管理については、鮮度・温度管理や納品時の検収を行い、各施設で年2回の細菌検査を実施しています。調理過程では除菌殺菌の意識を徹底させるなどしています。感染予防対策については、配達員・調理員・配膳に関わる市の職員等は月2回の保菌検査を実施し、児童生徒に対しては手洗いの徹底を行っております。

質問

今後の修善寺駅周辺地区の景観計画について

(大川 明芳議員)

修善寺駅周辺地区の都市再生整備計画事業が、平成26年度で終了します。今後の景観計画や都市計画で、ビジネスホテルや駅ビルの誘致、商店街にアーケードの設置、電線類の地中化、駐輪場の施設についてどのように考えているか。また、景観上で高さや面積、色彩、規模などの規制はどのように考えているか。市長の考えを伺います。

長弁
市答

伊豆らしい修善寺らしい風情を大切にしたい

伊豆市の将来を考え、新しい修善寺駅舎と同様なモチーフで、景観全体が緩やかな統一感がある駅周辺の地域づくりを、地域の皆さんのご意見を承りながら進めていきたいと思っています。

長弁
建設部
教答

駅周辺へビジネスホテル等の誘致やアーケードの設置を検討する場合、建築基準法を遵守し景観計画に沿って考えていきます。電線地中化は相当検討しましたが歩道幅等の問題から断念しました。駅広場の樹木は四季が感じられ維持管理しやすい樹種にしたいと考えています。

駅広場の樹木は四季が感じられ維持管理しやすい樹種にしたいと考えています。

質問

伊豆市し尿処理施設整備

(永岡 康司議員)

現在、し尿処理施設は、修善寺柏久保と土肥横瀬の2ヶ所で処理を行っていますが、両施設とも老朽化が進み、新たな施設が完成すると、この施設は解体されます。

今後は修善寺田代まで運ばなければなりません。この経費を土肥地区各世帯が負担するのか、業者が負うのか、市として負担する用意があるのか伺います。

長弁
市答

し尿収集運搬業務は運搬業者の独自料金で

し尿の収集運搬業務につきましては、ごみ収集運搬業務と異なり、市の委託業務ではないために、料金については、各運搬業者が独自料金で行っているため、金額については、市が介入することはできない状況です。

土肥衛生プラントは解体して、更地にしたと考えています。跡地利用については、今後、地主の皆さん方と協議をしていきたいと思っています。

質問

中学校再編先でなく希望ある『学校』議論を

(木村 建一議員)

生徒数が減るから、中学校の再編・統合ではなく「人口を増やすための環境づくりが必要。人口増加のための取り組みもふまえ、学校再編成を考えるべきである」という市民の声に、教育委員会はどうか答えますか。

長弁
教育委員会・学校・

教育委員会・学校・市長部局で連携

第2次学校再編計画は、2040年には市内中学生の数は350人程度と考えると、現修善寺中学と同程度であり、再編の必要性は、生徒に反映され、充実した教育活動を維持できると考えます。

新たな学校づくりを目指す学校再編は、人口増加や地域活性化を図る新たなまちづくりという意義があると教育委員会として考えています。その意義をとらえ、教育委員会及び学校ができること、市長部局と連携してできることを検討していきます。

質問

市民の集う図書館にしませんか

(三田 忠男議員)

図書館を見直しませんか。

専門職員配置による機能強化、設備改善、開館日と時間帯等見直し、子育て世代から高齢世代、障がい児者まで、ニーズに応じた柔軟な運営にし、市民の知的財産の提供、地域学習、研究研修の場にし、市民の集う図書館にしませんか。

長弁
教育委員会

図書館協議会で慎重な審議をしていく

図書館の指定管理者制度の導入は、民間ならではの柔軟な事業展開や効率的な運営などの利点がありますが、事業の継続性、コスト重視に傾いた場合の職員の労働状況等、市民の集いを含め本当の図書館としての役割を果たすことが出来るのかという懸念があります。図書館は、子どもから高齢者、障害のある方などすべての市民が利用しやすくしていくことが大切ですので、指定管理制度の導入を含め本年度から設置する図書館協議会で慎重な審議をしていきます。

質問

伊豆市の介護の現状と今後の方向性

(青木 靖議員)

長寿命化の一方、介護は社会全体で取り組むべき問題で、長期的な対策が必要です。

①介護保険制度とそれ以外の方法も含めた総合的な介護全体について、伊豆市の現状と今後の方針を伺います。

②地域包括支援センターは、介護を取りまく広範な業務を担当していますが、今後、体制の整備をどのように進めますか。

長弁
市答

介護の課題は在宅医療連携事業を進めていく

今後、在宅での介護や有料老人ホームなどで生活される方が増えていくのではないかと考えております。市では、高齢者の健康づくりや重症化を防ぐための予防事業を強化するだけでなく、福祉・医療・保健の各機関と連携して在宅医療連携事業を進めます。

地域包括支援センターの役割は、認知症への対応、生活支援、介護予防サービスの充実など新たな総合事業の試行に向けて市内4圏域を民間に委託していくことを計画しています。

平成26年
第1回臨時会

1月28日、平成26年第1回臨時会を開催し、市長から提出された専決処分の報告と議案1件について、原案のとおり可決しました。

◆専決処分の報告について

交通事故に係る和解及び損害賠償の額が決定したので報告するもの。

◆平成25年度伊豆市一般会計補正予算(第5回)

旧大東小学校設備等改修工事、旧土肥ふじみ園園舎解体工事、市内公的病院等補助金、こども医療費補助金など、1570万円を増額し、歳入、歳出予算額を165億849万円とするもの。

また、本年4月1日から実施を予定している高校生の通学補助制度について、事前説明等周知期間が必要なことから、債務負担行為として願うするもの。

平成26年第1回(1月)臨時会の賛否状況

■賛否が分かれた議案

件名	議決結果	永岡 康司	三田 忠男	小長谷朗夫	山下 尚之	山田 元康	青木 靖	大川 明芳	梅原 正次	小長谷順二	西島 信也	森島 吉文	杉山 誠	室野 英子	森 良雄	木村 建一
平成25年度伊豆市一般会計補正予算(第5回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

※1 ○賛成 ×反対
 ※2 議長(飯田正志)は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません。

討 論

◆平成25年度伊豆市一般会計補正予算(第5回)

反対討論

●旧土肥ふじみ園園舎解体工事は、一民間企業に売却するためのもので、住民・市民は何もメリット・利益を受けない。また、小下田の住民の貴重な避難地やお年寄りの憩いの場であるゲートボール場がなくなることは、住民の安全・安心とお年寄りの福祉について何も考えていない。貴重な市の財産である一等地を市民にとって何のメリットもない売却という方法をとることはまことに遺憾である。

●旧土肥ふじみ園園舎解体工事は、災害時の支援基地とか避難基地になるような、あんないい土地は他にはない。全く市民の利益というのを考えているのかどうなのか、大変疑問な売却です。高校生通学補助金は、通学費というのはバス代だけでは足りない。電車路線や父兄の送り迎え等、高校生全体に公平性が保

たれるような制度を考えていた
 だきたい。

賛成討論

●高校生の通学補助金については、人口減少・少子化対策として、よりましの政策として掲げられたと思う。旧土肥ふじみ園園舎解体工事や旧大東小学校設備等改修工事についても、大枠は市民のためになるものであるということ、今回の補正予算に対して賛成します。

●旧大東小学校設備等改修工事は、貸し付けるための準備をする予算であり、当然必要なものである。旧土肥ふじみ園園舎解体工事は、企業に有効活用していただくための準備なので、しっかりと準備をして進めていきたい。高校生通学費補助金は、まず一步が踏み出せたというところで評価している。市内公的病院等補助金は、伊豆赤十字病院に災害拠点病院としていざというときに、大切な役割を担っていただくため、衛星携帯電話を整備することは、情報ツールとして有効であるため、整備を進めていただきたい。

平成25年度 会派の議員派遣報告

フロンティア伊豆・創生伊豆
(2人会派合同)

【派遣日】 1月22日～24日

【目的】

- ・明治日本の産業革命遺産の九州関連施設の視察
- ・図書館の指定管理導入による活性化策の研修
- ・まち歩き観光事業「長崎さるく」について研修

【視察先・研修内容】

三池炭鉱「万田坑」

【熊本県荒尾市】

伊豆の国市葦山反射炉と同様に「九州・山口の近代化産業遺産群」として世界遺産登録を目指している。ボランティアガイドの案内で施設を見学し、炭鉱の歴史を聞く。日本の近代化に大きな役割を果たした炭鉱である。

三重津海軍所跡地・佐野常民記念館

【佐賀県佐賀市】

佐野常民は、三重津海軍所にて国産初の蒸気船「凌風丸」を完成させた。また、西南戦争の際は、敵味方区別なく負傷者を救護する「博愛社」を設立した。後に日本赤十字社と改称し、初代社長に就任した人物である。

武雄市立図書館

【佐賀県武雄市】

武雄市では、「図書館をもっと多くの人に利用していただきたい」との思いから、365日、年中無休を目指し、指定管理制度を導入し、TUTAYAを経営するCCC（カルチュア・コンビニエンス・クラブ）による運営を開始した。これにより、①20万冊の知に出会える②

雑誌販売の導入③映画・音楽の充実④文具販売の導入⑤電子端末を活用した検索サービス（iPad）⑥カフェ・ダイニングの導入（スターバックス）⑦代官山蔦屋書店のノウハウを活用した品揃えやサービス（自動貸出機・分類法・空間利用）⑧Tカード・Tポイントの導入⑨365日、朝9時～夜9時まで



▲指定管理制度を導入した武雄市立図書館

まち歩き観光事業
「長崎さるく」

【長崎県長崎市】

「さるく」とはぶらぶら歩く

という意味。長崎市では、長崎国際観光コンベンション協会が主体となり、①団体型から個人型②物見遊山から体験③男性主体から女性主体④観光と市民生活の分離から観光のまちづくり⑤紙媒体からICT化へシフトし、「まち活かし・ひと活かし」の基本理念のもと、まち歩き博覧会「長崎さるく博'06」を開催し、観光客の減少に歯止めをかけた。「さるく」には、「遊・通・学・食」の4つのコースがあり、推進委員会、さるくガイド、さるくサポーター、市民プロデューサーの連携によって支えられている。



▲長崎学さるくコースの軍艦島クルーズ

第2委員会所管事務調査

2月6日、第2委員会では所管事務調査を実施しました。

●介護保険制度について

改正された介護保険制度への対応について、1月29日に事業者説明会を開催し、今後は事業者と連携して地域支援事業を充実させヘルパー派遣やデイサービスなどのサービスを検討していく。

●認定こども園あゆのさと

開園してから2年経つが、入園児が多く、本年の募集は地元入園希望者へ配慮し、25人が他園に移っていただく協力をいただいた。一時預かり保育の児童数も多く、利用制限日数の15日／1月を使い切る利用者も多い。苦情に対しては、すぐに回答をし、園の方針に言いたいことが言える園を心掛けている。

●さくらこども園

来年度は、あゆのさとからの園児10人が入園予定である。遊戯室として使用している部屋も4歳児用の部屋にする予定である。園の規模から運動会や参観会等の時には、スペースを取ることが難しい状況である。



▲あゆのさとで入園希望者の状況などの説明を受ける

●中伊豆小学校

教職員の多忙業務について調査し、バス通学が半数を占めるため、安全指導には担任以外にも支援員や交通ボランティアでの対応してもらっている。月1回の研修会と会議や3部制による部会などがあり、平均して夜7時ごろまで残業をしている。土日勤務する職員も多い。調査や報告依頼は、月に10〜30件と多い。

議会傍聴・視聴について

本会議はどなたでも傍聴することが出来ます。当日、本庁2階へお越しください。

なお、団体の場合は、事前に議会事務局までご連絡ください。

本会議の様子は、市のホームページからインターネットにより生中継と録画中継による配信もしていますので、ぜひご覧ください。

(議会事務局0558-72-9906)

6月定例会の予定

場 所	本庁2階 議場
時 間	午前9時30分〜
6月9日(月)	行政報告 議案上程
11日(水)	一般質問
12日(木)	一般質問
16日(月)	議案質疑
25日(水)	委員長報告 質疑・討論・採決

※日程については、変更となる場合があります。ご了承ください。

編集後記

3月定例会も25日に閉会し、26年度一般会計予算が承認可決され、164億6000万円(色白)の伊豆市が将来に向けて発展・繁栄のため、必要な積極的予算となりました。

行政・議会・主役である市民の皆さんとの団結力で、色白予算に鮮やかな輝きのある色付けを行い、「人あつたか まちいきいき 自然つやつや 伊豆市」を実現できるように一丸となって頑張りましょう。

そのためにも、ご意見・ご要望を各議員にお寄せください。

「天城山春風うけて衣替え」伊豆縦貫道・富士山世界遺産・伊豆半島ジオパークと順風を受け、伊豆市にも一刻も早く春よ来い!

副委員長 山下 尚之